

令和5年6月12日
 (独)家畜改良センター
 熊本牧場

飼料用イネの展示ほ場を設置しました。

(独)家畜改良センター熊本牧場(場長:奥地 弘明^{おくち ひろあき})では、国産飼料として生産・利用が拡大傾向にある飼料用イネ(飼料用米・WCS 用稲)の展示ほ場を昨年度に引き続き設置をしました。

6月2日に展示ほ場の田植えを行いました。この展示ほ場では高糖分・極短穂タイプの品種「つきはやか」、「つきあやか」等の稲発酵粗飼料(WCS)向け品種や、飼料用米向け品種等、早晚性の異なる16品種(食用品種「ヒノヒカリ」を含む)を並べて栽培し、それぞれの品種特性を実物で比較頂けるように展示しています。

展示ほ場の様子については、熊本牧場のホームページ内(<http://www.nlbc.go.jp/kumamoto/seed/siryoinetenzio/>)でも定期的に更新してまいりますのでご覧ください。

また、令和5年度は熊本県の奨励品種である「夢あおば」、「つきすずか」を含む合計5品種2.7haの作付けを行い、その種子の生産も行っています。

現地説明等の対応は随時受け付けておりますので、希望される方は以下の問い合わせ先までご連絡をお願いします。



写真は昨年(R4)の様子

【展示ほ場主な品種】

- ・WCS 向け
 「つきはやか」、「つきあやか」
 「つきことか」、「ミナミユタカ」
- ・飼料用米向け
 「みなちから」、「ミズホチカラ」
- ・兼用種
 「夢あおば」、「北陸193号」

お問い合わせ先

家畜改良センター熊本牧場 担当者:種苗課 野方・森

電話:0968-84-3660 FAX:0968-84-3708

URL: <http://www.nlbc.go.jp/kumamoto/index.html>

「日本の食卓改良と技術で守ります。」 ~小さなタネから大きな牛まで